

高知くらしの護身術

328

中古車購入トラブル

実際の状態 確認を

(2014年7月22日掲載原稿)

中古車は状態がさまざま。情報誌や新聞、チラシ、インターネットの広告で探す際はつい価格だけに目がいきがちです。しかし、販売時には整備がされているか、購入後に保証が付くか、修復歴があるかなど、必ずチェックしてください。

自動車公正取引協議会の会員店の場合、フロントガラスに貼り付けられている「プライスボード」や広告には価格だけでなく、保証や整備、走行距離、修復歴など、重要な情報が表示されています。

インターネットで遠方の店から車を購入し、「画面には写っていなかった傷やへこみがある車が納車された」といったケースもあります。販売業者と電話やメールなどで交渉することになり、話がスムーズに進まなかったり、修理のために販売店へ車を持ち込んだりと、面倒な問題が生じます。

まずは、実際の状態をきちんと確認しておくことが大事です。中古車販売店で車を購入する場合も同じ。店に行ったら、価格や保証、整備などの条件が広告に表示されていた内容と同じかを見ましょう。見積書をもらい、諸費用の内訳や支払総額を確認しましょう。

契約が決まったら、注文書（契約書）をよく読んで納得してからサインを。約款にも目を通しましょう。注文書（契約書）の控えも必ずもらい、約束した内容が正確に記載されているかをチェックし、税金や保険料、その他、登録時の諸費用の確認も忘れないでください。

納車は車の状態が目できちんと確認できる屋間にしてもらい、傷やへこみはないか、装備や状態が約束した内容と同じか点検しましょう。車検証、保証書、定期点検記録簿、操作方法などで、不明な点があれば聞いてみましょう。